



# 下呂市 議会だより

GERO CITY  
assembly

72  
令和4年5月1日



令和4年3月29日、下呂市被覆型一般廃棄物最終処分場の竣工式が執り行われました。本施設は、38年の長きに渡り運用してきた萩原町四美地区の一般廃棄物最終処分場に代わるもので、雨水などによる影響を受けないよう上屋を設け、埋め立て地全体に遮水シートを施し、周辺地域の生活環境保全に万全を期した施設として、供用開始しました。【①はテープカットの様子、②は内部写真、③は全景写真】

CONTENTS

- 1月臨時会の報告(審議結果)・3月定例会の報告(審議結果) (P 2~P 5)
- 予算特別委員会、常任委員会報告 (P 6~P 8)
- 一般質問(会派代表質問、個人質問) (P 9~P 13)
- 「議会への意見・提案箱」「市民と議会との意見交換会」他 (P 14)
- 議会基本条例の達成状況検証、編集後記他 (P 15~P 16)

# 1月臨時会の報告

1月31日、令和4年第1回下呂市議会臨時会を開催し、子育て世帯臨時特別給付金の令和3年度内の現金一括交付や、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金を早期交付するために必要な費用の増額補正に係る専決処分の承認、および市道除雪経費の増額、3回目の新型コロナワクチン接種を円滑に進めるための債務負担行為の設定などの一般会計補正予算を可決しました。

## 上程議案と審議結果

### ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
専決処分の承認について（令和3年度下呂市一般会計補正予算（第15号）） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯や、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金を現金給付するための補正予算について承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
令和3年度下呂市一般会計補正予算（第16号） 市道除雪対策費の増額、萩原小学校長寿命化改良工事の年度間の事業費組替、3回目の新型コロナワクチン接種を4月1日から円滑に進めるための債務負担行為の設定に係る補正。	可決 (全会一致)

# 3月定例会の報告

2月25日から3月25日までの29日間において、令和4年第2回下呂市議会定例会を開催しました。初日（2月25日）には、教育長の任命に対する同意や、新型コロナウイルス感染症対策等に係る令和3年度の補正予算などを可決しました。

また、最終日（3月25日）には、市道の路線変更、指定管理者の指定、財産の譲与、新市まちづくり計画（煌）の変更、条例改正、令和4年度の一般会計、特別会計および企業会計当初予算などを可決しました。この他、3月10日には、ロシアのウクライナ侵略に関して抗議する決議が、議員提出議案として提出され、全会一致で可決しました。

## 上程議案と審議結果

### ○全会一致で可決した議案【①市長提出議案 ②議会提出議案】

議案名	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員候補者として日野光洋さん、中島春子さん、小池淳子さん、植松秀之さん、後藤満さんを推薦するため議会の意見を求めるもの。	適任 (全会一致)
① 下呂市固定資産評価審査委員会委員の選任について 下呂市固定資産評価審査委員会委員として可兒敏さん、二村象史さん、桂川勇人さんを選任することについて、議会の同意を求めるもの。	同意 (全会一致)
下呂市教育委員会教育長の任命について 下呂市教育委員会教育長に細田芳充さんを任命することについて、議会の同意を求めるもの。	

## 前ページに続き全会一致で可決した議案【①市長提出議案 ②議会提出議案】

議 案 名	審議結果
下呂市教育委員会委員の任命について 下呂市教育委員会委員に田中由美さんを任命することについて、議会の同意を求めるもの。	同意 (全会一致)
森8号線道路改良(2-1)工事請負契約の締結について 森8号線道路改良(2-1)工事請負契約を曙開発株式会社と締結するもの。	
令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	
令和3年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
令和3年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第4号)	
令和3年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	
令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第4号)	
令和3年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算(第3号)	
令和3年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第3号)	
令和3年度下呂市水道事業会計補正予算(第5号)	
令和3年度下呂市下水道事業会計補正予算(第4号)	
令和3年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第3号)	
令和3年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第6号)	
① 事業費確定等に伴い予算調整を行うもの。	
市道の路線変更について 市道和田川12号線の道路改良に伴い、接続する市道の起終点を変更するもの。	可決 (全会一致)
下呂市デイサービスセンターの指定管理者の指定について やすらぎセンター四美の指定管理者として、社会福祉法人下呂市社会福祉協議会を指定(1年)するもの。	
財産の譲与について 下呂温泉合掌村内の電気自動車用急速充電器を本機器の運用を行う事業者に譲与するもの。	
新市まちづくり計画(煌)の変更について 合併特例債を原資として、新たに地域振興基金を創設するため、変更するもの。	
下呂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 令和3年の人事院勧告等に鑑み、期末手当支給率を引き下げるため改正するもの。	
下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 令和4年度分国民健康保険税の税率、税額の改正、未就学児に対する均等割額の軽減を実施することに伴い改正するもの。	
下呂市手数料条例の一部を改正する条例について 住民票の除票の写し等の交付手数料に関する規定を追加するため改正するもの。	
下呂市道の駅馬瀬美輝の里条例の一部を改正する条例について 現在閉鎖中の交流施設および足湯施設を道の駅から除外するため改正するもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案【①市長提出議案 ②議会提出議案】

議 案 名		審議結果
	下呂市企業立地促進及び企業支援に関する条例の一部を改正する条例について 下呂市固定資産税の特例に関する条例の改正に併せ、補助要件を緩和するため改正するもの。	可 決 (全会一致)
	下呂市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について (仮称)下呂市被覆型一般廃棄物最終処分場の設置にあたり、施設名称、位置、区分を追加するため改正するもの。	
	下呂市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について 国が示す「非常勤消防団員の報酬等の基準」を踏まえ、出勤報酬、年額報酬を標準額に改めるため改正するもの。	
	下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 消防団員等公務災害補償を受ける権利を担保とする特例を定めた、ただし書きを削除するもの。	
	令和4年度下呂市水道事業会計への繰出について 簡易水道事業債の元利償還金について、一般会計から基準を超えて繰り出しするもの。	
	令和4年度下呂市下水道事業会計への繰出について 下水道施設の維持管理等に必要な経費について、一般会計から基準を超えて繰り出しするもの。	
	令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について 下呂温泉合掌村のトイレ改修に係る費用について、一般会計から基準を超えて繰り出しするもの。	
①	令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	
	令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	
	令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算	
	令和4年度下呂市下呂財産区特別会計予算	
	令和4年度下呂市学校給食費特別会計予算	
	令和4年度下呂市水道事業会計予算	
	令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算	
	令和4年度下呂市立金山病院事業会計予算 令和4年度の特別会計および企業会計において事業を行うための当初予算	
	萩原小学校長寿命化改良2期工事（建築）請負契約の変更契約の締結について 萩原小学校長寿命化改良2期工事（建築）について追加施工等を行うため、変更契約を締結するもの。	
	下呂市立小中学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 下呂小学校と中原小学校を統合するため改正するもの。	
	下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について 非常勤職員の育児休業および介護休業等の取得要件の緩和等のため改正するもの。	
	下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について 関係政令の改正および関係条例との整合性を図るため改正するもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案【①市長提出議案 ②議会提出議案】

議 案 名		審議結果
①	令和3年度下呂市一般会計補正予算（第18号） マイナンバーカード発行に係る交付金の増額補正、および子育て世帯臨時給付金、飛騨中核病院医療機器導入補助、治山・林道維持補修に係る繰越明許費補正など	可 決 (全会一致)
	令和4年度下呂市一般会計補正予算（第1号） 新型コロナウイルス感染症対策、市行政対応策専門員設置に係る補正など。	
②	ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議について ロシアのウクライナ侵略に関して抗議することを決議するもの。	
	下呂市議会委員会条例の一部を改正する条例について 令和4年度の行政組織再編に伴い、議会常任委員会の所管について、新たな組織名に変更するため改正するもの。	
	下呂市議会会議規則の一部を改正する規則について 本会議および委員会の欠席事由等について明文化するとともに、本会議の開会時刻を繰り上げるため改正するもの。	

○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議 案 名	議 員 名												審議結果		
	鷺見昌巳	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤厳悟	一木良一	吾郷孝枝		中島新吾	中島達也
下呂市行政組織条例の一部を改正する条例について 市民に分かりやすく、効率的な業務運営がしやすい組織に再編するため条例を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	可 決 (賛成多数)
令和3年度下呂市一般会計補正予算（第17号） 新型コロナウイルス感染症対策、缶プレス損害賠償請求事件調停解決金繰越明許費等に係る補正。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
下呂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について 関係法律の改正が行われることに伴い、条例を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 令和3年の人事院勧告等に鑑み、期末手当支給率を引き下げのため、改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
令和4年度下呂市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
令和4年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
令和4年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	
令和4年度下呂市下水道事業会計予算 令和4年度の一般会計、特別会計および企業会計において、事業を行うための当初予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席		×	×	○	

## 令和4年度下呂市当初予算（※合併以降3番目の規模）

※一般会計予算

### ◆ 一般会計

《福祉や教育、道路整備など幅広い住民サービス》

**237億円** (対前年比 0.4%減)

### ◆ 特別会計

《国民健康保険、介護保険など特定事業7会計》

**82億6954万円** (対前年比 2.0%増)

### ◆ 企業会計

《上・下水道、下呂温泉合掌村、金山病院事業会計》

**67億9760万6千円** (対前年比 3.6%減)

**総額 387億6714万6千円** (対前年比 0.5%減)

## 予算特別委員会

3月16日から18日および22日の4日間、委員会を開催し、令和4年度一般会計、7特別会計、および4企業会計について審査し、全て可決すべきものと決しました。

なお、一般会計では令和3年度に引き続きとなるコロナ感染防止対策や将来のまちづくりや地域振興のための基金の積立、森林環境譲与税を活用した森林整備などを含め、合併後過去3番目の規模となる予算となりました。

主な審査内容は次のとおりです。

**Q** 《定員適正化計画の状況について》  
昨年、第4次の定員適正化計画が示されたが、新年度予算への反映状況は。

**A** 計画に従い新卒者の一定数の確保を行い、40歳以下の隙間を埋めていくため、社会人採用等を実施し、職員の年齢構成の平準化に努めています。一方で定年前の退職者の発生もあり、職員数の安定確保が課題です。予算上は1名増となっております。

**Q** 《安心のまち推進相談員設置について》  
危機管理を担っていただく専門員を設置することだが、

**A** 職員に対する暴力や脅迫など不当または不正な手段による要求

の防止、公平な市政の運営、職員の公正な職務の遂行を確保するため、非常勤ではありますが、会計年度任用職員の「安心のまち推進相談員（行政対応対策専門員）」として、警察OBの採用を考慮しており、職員と一緒に頑張って対応していただきます。

**Q** 《広報げろお知らせ版の廃止について》  
毎月中旬発行の「広報げろお知らせ版」を廃止する理由は。

**A** 広報のメディアの環境は、即時性の高いインターネット、メール、SNSなどの電子メディアの活用で大きく変化しています。今までお知らせ版に掲載していた情報は、広報げろ本紙での掲載やメール、ホームページなどを活用することで担保でき、広報紙読者のアンケート結果でも、お知らせ版を読んでいる方が半数以下という状況であった事も考慮し廃止を決定しました。

**Q** 《デジタルトランスフォーメーション(DX)事業について》  
国はDX推進計画書に自治体のデジタル化には民間からの能力活用の必要性を示しているが。

**A** 今後の市の情報行政を進め、デジタル対応していくため、新年度、情報処理の免許を保有した、公共システム構築の経験者をデジタル課長として民間から採用したいと考えています。任期について

は5年です。

**Q** 《防犯灯・防犯カメラの設置について》  
防犯灯や防犯カメラの設置について、自治会等へは設置費用の半額の助成制度はあるが、市として駅周辺など公共性の高い場所に設置する考えは。

**A** その照明が防犯灯か、道路の照明灯かで扱いが変わってきます。道路の照明灯であれば、建設部門で設置も可能かと考えます。

**Q** 《振興事務所の権限の強化について》  
振興事務所の権限強化策として、地域からの要望に対する予算枠の拡大はできないか。新年度に地域振興部が新設され、部長の裁量のもとで、不用額を必要な地域に回していくような柔軟な対応はできないか。

**A** 地域の問題が非常に多く関心も高いことは認識しており、そういう意味では新年度設置する、まちづくり推進部と地域振興部の二つが両輪になって動いていく、そんな組織を作っていきたいと思っています。そうした中で、令和5年度以降の予算立ても地域振興部として、どういふものができるのか検討していきます。

**Q** 《保育所施設整備事業について》  
子育て支援施設の建築費の見込みは。

**A** 子ども子育て会議で協議を重

ね、専門家や地元の方々のご意見を聞いた結果、建築面積が昨年9月にお示した面積の1・5倍になっていきます。建築費用も1億円ぐらいい見込んでいましたが、現状からすると、2億から3億は必要ではないかと考えています。

**Q** 木造建築には、県産材需要拡大の補助金や林野庁をはじめ、国の補助もあるようだが。

**A** 県産材補助金等も当然活用していくこととしています。木育を全面的に取り入れて下呂市の木育の象徴的で中心となる施設にしたいと考えています。

**Q** 新年度から解体に入ると、完成までの間、不登校児童等の相談などに利用する代替施設は。

**A** 施設の解体から完成までは1年ぐらいかかるので、その間、不登校児童等の相談などは、近隣の公民館や星雲会館の部屋を活用するよう調整します。

### 《医師確保について》

**Q** 金山病院や下呂温泉病院の医師確保の現状は。

**A** 市立金山病院も県立下呂温泉病院も基本的には岐阜大学の医局からの派遣となっています。岐阜大学の医局も医師が少なくなってきました。飛騨圏域の中での医師派遣が検討されているようです。金山病院長も非常に苦慮されていますが、新年度は外科の常勤医師が1人増員の見込みと聞いていま

す。

### 《新年度の交通体制について》

**Q** 新年度における市内のバス体系の変更点は。

**A** 新年度から金山地域のコミュニティバス、デマンドバスの運行形態が大きく変わります。これまでのバス利用者の傾向として、午前中に買い物等を済ませるといことが、乗降者実績からも分かり、午後の便の利用者が少ないことから、午後の便をデマンドバス化に切り替えるものです。今回の改正だけではなく、今後も利用者の利便性を考慮し、先進的な事例も研究していきたいと考えています。

### 《新年度における森林環境譲与税活用事業について》

**Q** 二次災害を防止する谷沿いの倒木処理を拡大する考えは。

**A** 昨年度に引き続き続いた事業となりますが、予算拡充として、木材運搬や木材のチップ化を新たに補助対象とします。また、大規模災害による倒木は、条件付で1カ所150万円の限度額を300万円に引き上げることとし、令和2年7月豪雨で被災しました小坂地区を中心に、市内13カ所で実施を予定しています。

### 《建築物安全支援について》

**Q** 建築物の安全を目的とした耐震リフォーム補助が十分活用されていないのではないかと。

**A** 市民の命を守るため、国庫補助を活用して家屋の耐震工事を推進しています。市では平成16年度から住宅の耐震診断を無料で実施し、昨年度までに453件の実績があります。その中で耐震補強工事を施工されたのは33件にとどまっています。また、家屋の耐震工事と同時に行うリフォーム工事に対して、工事費の3分の1を補助することで耐震化の推進を図っています。

### 《児童のタブレット使用について》

**Q** 児童・生徒に貸与されているタブレットの使用時のルールは。

**A** タブレットについては、小学生の低学年は不慣れですが、高学年から中学生は、とても上手に使っています。使用時のルールは、保護者とともに1回は学校で説明していますし、子どもと一緒にルールを守ることを確認し、誓約書も提出いただいています。壊れたことも多少ありましたが、ほとんど使ってもらい、壊れた場合は個別に相談させていただいています。

### 《学校スリム化事業について》

**Q** 教員の働き方改革に向けた環境整備の現状は。

**A** ここ数年ですが、少しずつ早く帰れるようになり、業務も凝縮されてきています。県が運用する業務支援システムにより、これまで手書きで管理していた出席簿や健康管理簿、指導要録の管理がパ

ソコンでできるようになっていきます。また大型の印刷機を導入していただいたことにより、例えばPTAなどの大量資料を作る場合にもパソコンからデータを直接送信できるため、印刷時のトラブルも減り、大幅に業務時間が削減されています。

### 《介護予防生活支援サービス事業について》

**Q** 介護予防生活支援サービス事業の現状と周知方法は。

**A** 金山地域ではモデル的に通所サービスAというデイサービスの手前というようなイメージのサービスを行っています。現状は男性の利用者が通常のデイサービスより多く利用されています。こうしたサービスを令和4年度に市内3カ所で新たに開始します。今後也包括支援センター職員が訪問する中で、介護予防の必要性をお伝えし、こういったサービスの利用拡大につなげていきたいと考えています。



## 総務教育民生 常任委員会

3月14日、委員会を開催し、付託された13議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 『下呂市デイサービスセンターの指定管理者の指定について』

（公設デイサービスセンター）「やすらぎセンター四美」の指定管理者として、社会福祉法人下呂市社会福祉協議会を指定するもの

**Q** やすらぎセンター四美は、以前から市社会福祉協議会への譲渡が予定されており、それに向けた準備期間は十分あったと考えますが、この段階になって指定管理をさらに一年延長する理由は。

**A** 今年度、当該施設の現状調査を行ったところ、予想を上回る修繕が必要な箇所が判明したことから、市の責任のもとで修繕を施し、その上で適切に譲渡する方針としたため、指定管理を延長することにしました。

### 『下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について』

（令和4年度分の国民健康保険税の税率および税額を改めるとともに、未就学児に対する均等割額の

軽減を実施するため改正するもの）  
**Q** 税額を昨年度より被保険者一人当たり年平均1600円程度減額する内容となっているが、この先の動向をどう予測しているか。

**A** 国民健康保険は、県が運営主体であり、県への納付金負担や国保事業の実施状況等に鑑み、税額を設定することになります。医療費見込等により算定される県への納付金は、大きく変動することから、数年先を予測するのは極めて困難です。そのため、毎年、収支バランスを考慮し、税率および税額の検討を行うこととしています。

### 『財産の譲与について』

（下呂温泉合掌村駐車場内に設置のEV（電気自動車）用充電器について、当該機器の運用を行う事業者に無償譲与するもの）

**Q** EV用充電器の需要が高まっていくと予想される中、今後、市としてどう対応していくのか。

**A** 市内のEV用充電器を市が一元に維持管理するのではなく、民間の力に頼っていくことが妥当ではないかと考えます。



下呂温泉合掌村のEV用充電器

## 産業経済常任委員会

3月15日、委員会を開催し、付託された7議案について審査した結果、全ての議案について可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 『下呂市道の駅馬瀬美輝の里条例の一部を改正する条例について』

（現在閉鎖中の交流施設および足湯施設を道の駅から除外するため、条例を改正するもの）

**Q** 今回除外する施設には、水辺の館も含まれるのか。

**A** 水辺の館は、県の道の駅指定エリアに位置し、引き続き県のエリアの中で運営していきます。

**Q** 当該道の駅は、訪れるお客様が減少している状況の中で、今後、県が指定する道の駅として維持していけるのか。

**A** 県から道の駅を縮小するとか、閉めるといった意向は伺っていません。閉鎖中の施設は、地元と十分協議したうえで、普通財産として、地域で有効に使っていただくため、除外することとしました。

**Q** 今回除外する施設が所在する土地の所有者は。

**A** 民間に譲渡することとなった場合、建物と土地をセットで考えています。現在、登記事項などについて調査しています。

**Q** 今回除外することや、用途が変更される可能性があることについて、道の駅を運営する県とのすり合わせはできているのか。

**A** 今回条例から外すのは、地域の活性化を目的としており、特にすり合わせはしていませんが、当初から県との間で、情報を共有しながら、用途についても進めてきています。

『下呂市企業立地促進及び企業支援に関する条例の一部を改正する条例について』（企業誘致の促進を図るため当該条例の補助要件を緩和するもの）

**Q** 補助要件の20人の雇用を10人に緩和することについて、地元としては20人という雇用が創出されることに期待していたと思うが、人数を減らすことに至った背景は。

**A** 雇用要件を減らすことで雇用人数が減るといった考え方はなく、近隣自治体でも、20人以上という雇用要件は少なく、厳しい要件であったので、より柔軟に企業誘致するため、要件を緩和するものです。



道の駅馬瀬から除外する交流施設





5 番  
田中喜登議員  
(政策研究会梟)

### 新市まちづくり計画「煌」について

①「煌」に掲げられた主要プロジェクトの進捗状況は。

#### ◆市長公室長

主要プロジェクトについては、

推進に力を入れていくべき6つの柱のもとに、複数の事業を掲げており、その進捗状況として、例えば、柱の一つ、『自然環境の保全と自然と調和した生活環境の整備』における事業として、『ゴミ焼却施設の整備』を掲げているが、クリーンセンターや最終処分場の建設が完了し、事業としては終了している。また、『健康・医療・福祉の整備・充実』の中に『地域交流センターの整備』を掲げているが、これについても下呂交流会館が完成している。主要プロジェクトの中にはすでに完了している事業がある一方で、現在も鋭意進行中のものもある。

②新設された地域振興基金を活用した新たな具体的施策は。また、「煌」への位置付けの必要性は。

#### ◆市長公室長

主な活用先としては、下呂市第二次総合計画の重点プロジェクトである「人口減少対策」や「地域づくり」、あるいは「行財政改革」を想定しているが、具体的な施策・事業までは未定である。なお、新市まちづくり計画「煌」には、基金の造成自体を記載することは必要とされるも、基金を活用して行う個々の事業や、その計画の記載までは必要とされていない。

### 令和4年度の施政方針について

市長は、公約に基づく3つの方針を軸に市政の運営方針を述べているが、それぞれの方針の中から特に優先度の高いと感じる課題について問う。

①4月オープン予定の「湯めぐり館」について、具体的にどのような活用し、下呂市全域の観光拠点としてどう運営していくのか。

#### ◆観光商工部長

指定管理者の強みを活かし、市内の観光情報発信に留まらず、飲食店、特産品、土産品等の案内や、県内はもとより全国の旬な情報をお客様に提供するアンテナショップ的な役割も担い、多業種多方面への消費拡大に努めたい。

②持続可能な第一次産業の構築に向けた具体的な構想はあるのか。また、それぞれをどのように連携

#### させていくのか。

#### ◆農林部長

林業においては、具体的には森林経営管理制度による意向調査750ヘクタールと、意向調査で市に管理を任された山林の間伐を市内5カ所で250ヘクタール予定し、森林整備を推進する。また、「下呂の森が育んだ木の家推進事業」の拡充などに取り組む。

③公共交通網の利便性・効率性を踏まえた見直しを随時行うとあるが、市民の満足度は依然として低く、大金を投入している割には成果が上がっているとは言い難い。利便性が高く、真に効率性の良い公共交通網に向けた計画はあるのか。

#### ◆生活部長

市の組織再編により、令和4年度からは、公共交通施策の担当は「まちづくり推進課」が担当する。公共交通はまちづくりと一緒に考えていくことが重要と捉えており、今まで以上に福祉、観光等の関係部局や関係機関と連携を進め、地域の実状にあった公共交通の整備を進めていきたいと考えている。

④まちづくりの拠点となる振興事務所の機能強化を目的として、地域振興部を新設し、市内5地域の舵取りを行うとある。地域の特性を活かしながら災害時にも強い堅

固な絆を有する地域づくりについて、市長の考えは。

#### ◆市長

下呂温泉合掌村の用途不明金の問題を機に、1年をかけて全職員や職員組合とも意見交換を行い、組織体制の問題を洗い出し、2年が経過した今が組織再編のタイミングとなった。今までは、内部統制が取れていたとは言い難く、風通しもよくなかった。昇任試験がなかった問題もあり、年功序列で管理職相当の者が非常に多く、職員の約3割だった。組織として問題があり、降格希望などの問題も出ている。庁舎一本化でない影響もあるが、振興事務所機能が市としてまとまっていない。ネットワーク的な機能がなかったことで地域振興を一本に公平感を持ってとりまとめいく組織として、地域振興部を配置した。地域間格差をなくすような事業や、大きな問題は地域振興部を主体としたい。

### 政策研究会<sup>さつき</sup> 梟

- 代表 田中 喜登
- 幹事長 鷲見 昌己
- 会計 森 哲士
- 監査 中島ゆき子

# 一般質問 8人が市政を問う



9 番  
今井政良議員

**火葬業務体制および火葬設備について**

①火葬業務の現状と今後の業務体制について。

◆環境部長

火葬業務に従事されているシルバー人材センター会員の後継者確保が困難な状況になってきていると伺っている。今後、委託を含めたさまざまな運営方法について、市民の皆さまにご理解いただけるよう検討していく。

②火葬設備（バーナー等）の更新計画について。

◆環境部長

年次計画として決定したものは無いが、市の第二次総合計画において、今後5力年の中で施設改修の検討に入る計画としている。

**少子化に伴う子育て支援、教育体制について**

①少子化に伴う子育て支援策の考えと今後の対応について。

◆健康福祉部長

令和4年度予算として、萩原南子育て広場の解体撤去工事、その跡地に建設予定の子育て支援施設の実施設設計委託、紙おむつの園内

処分などに係る費用を計上している。今後も3歳未満児保育ニーズへの対応とともに、家庭での育児の支援も強化していきたい。

◆教育長

子どもたちのために今後の教育環境について保護者や地域の方々と議論していきたい。部活動については、生徒がやりたいことに挑戦でき、専門的な指導が受けられるよう検討を重ねていきたい。

**あさぎりサニランドの新築移転計画と介護人材の確保について**

①度重なる豪雨災害で避難を余儀なくされた、あさぎりサニランドの新築移転計画を進めるべきと思われるが市の考えについて。

◆健康福祉部長

指定管理者である下呂福祉会内にプロジェクトチームを設置し、下呂福祉会の「将来像」を明確にする作業を進めていただいている。

②介護職員確保のためにも給与等の処遇改善が必要と思われるが、市の人員確保に対する方策について。

◆健康福祉部長

介護職員の処遇改善は、国において制度として確立されているものであり、国の制度の枠組みの中で、サポートしていきたい。



8 番  
田中副武議員  
(公明党)

**令和4年度の組織再編について**

新年度に行う組織再編において、振興事務所の機能強化の一環として、地域づくりを総括する地域振興部長を専任配置し、各地域の振興事務所には次長級の所長を配置することになっているが、具体的にどのよう機能強化を図っていくのか伺う。

◆市長

振興事務所のネットワーク化を図り、効率的な住民サービスを行うために、なお、振興事務所機能を弱体化するつもりは全くない。今までは地域の独自性に重点を置いてきたが、市全体として公平性を保つために地域振興部を置き、まちづくり推進部で計画したこと、地域振興部で実行するイメージである。役職に関わらず、組織として動くことで活性化を図りたい。地域間格差をなくして、各地域で同じ施策を打てるのが地域振興部のメリットでもあると考え

**差別のない社会を目指して**

①LGBTやジェンダー、貧困や

障がいのある無関係なく、差別のない下呂市にするための周知の方策について伺う。

◆市長公室長

人権擁護委員が、小学校やこども園などで、人権をテーマとした紙人形を使った人形劇を開催するほか、学校と連携し「命のふれあい講座」を開催している。

②厚生労働省は、ヤングケアラーの調査で中学2年生の6%、高校2年生の4%が該当すると公表したが、下呂市の実態について伺う。

◆健康福祉部長

支援対象の児童は、ヤングケアラーの定義に当てはまるかどうかは別として、子どもの生活に過度な負担がかかっている事例が多く見られる。そうした家庭には、児童福祉課内の2名の家庭相談員が、支援制度を紹介するなど、寄り添いながらサポートしている。

**新型コロナウイルス接種について**

小児に対する接種が国から示されているが、その対応について伺う。

◆健康福祉部長

個別接種、集団接種とも開始予定であるが、5歳から11歳の接種については努力義務となっていないので、正しい情報をご理解いただき、親子で話し合ったうえで、保護者の方の意思に基づいて接種の有無を決定していただくようお願いしている。



6 番  
尾里集務議員

**火葬場の運営について**

下呂市には2カ所の火葬場があり、現在はシルバー人材センターに業務委託がされているが、シルバー人材センターは撤退の意向があると聞いている。今後の運営に対する市の考えは。

**◆市長**

当面は直営で運営し、これから時間をかけて委託などの方法について、市民の皆さまにご理解いただけるような方策を考えたい。

**閉鎖中の飛騨金山温泉ゆったり館の今後について**

重点道の駅に指定されている「飛騨金山めぐ森の里温泉」内に位置するゆったり館は、現在閉鎖中となっているが、今後の施設活用方策は。

**◆金山振興事務所長**

重点道の駅整備におけるコミュニケーション拠点として必要なものであることから、地域住民の交流はもとより、市外・都市部との交流により、地域の活性化につながる拠点として温泉施設以外の活用を

考えている。

**これからの観光戦略について**

今年度末に下呂市観光交流センターが完成し、旧あさぎり荘跡地には、(仮称)イベント広場の整備も予定されている中、それらを活用した今後の観光戦略は。

**◆観光商工部長**

現在、下呂市DMO委員会を中心に、観光商工関係者が毎月集い、細かなデータ分析によるマネジメント会議を行いながら、誘客事業が進められている。今後、観光の拠点となる下呂市観光交流センターと(仮称)イベント広場を有効に活用し、官民が一体となり、宿泊客130万人誘致を目指して誘客事業を進めていきたい。

**保護動物の取り扱いについて**

保護された犬や猫などを家族に迎えたい場合、動物病院への受診や、繁殖制限のための避妊・去勢措置等が必要となるが、その費用負担に係る市としての支援の考えは。

**◆健康福祉部長**

保護された犬や猫に関わらず、犬猫の繁殖制限措置が義務化されており、飼い主の責任において、繁殖防止の不妊・去勢手術をお願いしている。



12 番  
吾郷孝枝議員  
(日本共産党)

**新型コロナウイルス検査の拡充と感染対策について**

感染力が非常に強いオミクロン株への対応は、これまでの延長線上からの切り替えが必要。感染を制御しつつ経済を動かすための最大の対策は、無症状感染者の早期発見と保護・隔離するのが原則。そのためPCR検査などの拡充を。

①検査を希望する人が、「いつでも、誰でも、どこでも無料で検査」が受けられるように、十分な検査キットの確保と、検査所をもっと増やすことが必要。

**◆健康福祉部長**

薬局での検査実施をお願いしているが、従事する薬剤師の不足もあり、開設は難しい。

②集団感染を防ぐため、医療・介護、福祉、保育、学校などの職員の定期的検査の実施を。

**◆健康福祉部長**

岐阜県が実施する「高齢者・障がい者施設および介護保険・障がい福祉サービス事業所の職員に対するPCR検査」などを積極的に

活用していただくようお願いしている。

**もっと子育て支援に全力を**

子育て支援として市長も選挙公約されている、  
①3歳未満児から保育料無料化、児童保育の利用料金を近隣市並に引き下げを。

**◆健康福祉部長**

3歳未満児の保育料については、下呂市では、全ての階層において国の基準額より低額に設定している。児童保育の利用料金については、子育て支援と受益者負担のバランスの中で検討していきたい。

②入院・通院費など医療費助成を高校生まで拡大、子どもの国保均等割負担軽減を高校卒業まで拡大を。

**◆総務部長**

現在では、中学、高校生までの医療費助成の拡大、および子どもの国保均等割負担軽減の拡大は考えていないが、市全体の子育て支援の中で検討していく。

③給食費の保護者負担を中学生と同様に小学生も半額にするなど、もっと子育て支援に全力を上げるべきでは。

**◆教育委員会事務局長**

厳しい財政状況ではあるが、今後の子育て支援策を考える中で検討していく。



3 番  
飯塚英夫 議員

## 組織再編によって名称変更される「子ども家庭課」について

子どもに関わる幅広い実務を担い、子どもの権利を守り、健やかな成長を支えるための新組織への期待は大きい。名称変更だけでなく、子どもの目線に立った踏み込んだ組織づくりが重要と考える。例えば、子ども医療費助成の支給範囲を高校生まで拡大するなど、具体的な施策を問う。

### ◆健康福祉部長

令和4年度の子ども家庭課の施策としては、萩原南子育て広場の解体撤去工事、新施設の実施設設計業務委託を予定している。また、子ども園等の保育施設による安全安心な保育環境の提供や、施設の適切な維持補修、備品等の整備を実施するなど、さまざまなニーズに対応できるよう子育て支援サービスへのブラッシュアップに取り組んでいく。

### ◆総務部長

子ども医療費助成の支給範囲の拡大については、市全体の子育て

## 支援の中で検討していく。公園緑地等の整備について

市内には飛騨川公園をはじめ大小さまざまな公園緑地等がある。整備された時期やその利用形態、周辺環境の変化により、その位置付けやニーズが変わってきている。庁内プロジェクトチームでの検討内容と、具体的な今後の整備方針を問う。また、旧下呂温泉病院跡地に係る庁内プロジェクトチームでの検討内容と、具体的な今後の整備方針を問う。

### ◆市長公室長

市内の公園の現状把握調査を実施したところ、87カ所の公園が点在していた。既存の公園の遊具、トイレなどを見直す整備計画の策定について提案がされており、今後は、市民の皆さまの意見を伺うための検討委員会を組織して、整備に取り組むこととしている。旧下呂温泉病院跡地については、リハビリ棟跡地の広範な土壌から基準値を超えるヒ素が検出されていることから、まずはそれに影響される開発制限事項の正確な確認や、その制限を踏まえた上で可能な事業は何かといったことなどについて検討を重ねている。周辺事業者にとっても集客効果を生み、地元の賑わい創出につながるものとなるよう、幅広い意見、提案に基づいて検討を進めていく。



13 番  
中島新吾 議員  
(日本共産党)

## 新型コロナウイルス感染症対策と市民のくらしと経営の支援強化を

①全ての業種で大きな打撃になっている。市がそれぞれの業種において経営継続に必要な支援を一層強化すること。

### ◆観光商工部長

事業者に対する「月次支援金第2弾」に係る令和4年度補正予算などを計画している。

②農家は先行きへの不安が大きくなるばかり、農業と地域の存続に関わる問題に。市は農家の経営と生産の継続を支援すること。

### ◆農林部長

元気な農業産地構造改革支援事業などにより、機械・施設などの整備に対する支援を行っている。今後も引き続き情勢の変化にも注意を払いながら、これらの支援を継続していく。

## 振興事務所は地域の拠点

住民から「組織の再編は振興事務所の役割と機能の縮小につながるのでは」との強い心配の声。市民と職員の立場で検証し、再編に

ついて見直しを。

### ◆市長

組織系統を見れば、どう見ても弱体化することはない。町村合併から18年が経過する中で、町村合併当時の役場と同じような機能は考えていない。

## デジタル化の推進について

「くらしに役立つデジタル化」と国は推進を強めている。①行政サービスに格差があってはならないが、その対策は。

### ◆市長公室長

デジタルとアナログの両方の窓口の開設や、オンライン申請の支援をはじめ、さまざまな対策を引き続き講じていく。

②国のルールで統一化されようとしているが、市の個人情報保護条例は改定するのか。

### ◆総務部長

国の新たな法律、国が示すガイドラインをしっかりと読み込み、必要に応じ市独自の個人情報保護措置を講じるよう進めていく。

③デジタル化推進については職員としっかりと話し合いを。

### ◆市長公室長

何のための効率化なのかを考えながら、今後も実際に働く職員の見解などをしっかりと聞きながら、本当に効果のある業務改善を目指していく。



2 番  
田口 琢 弥 議員

### 過去2年間における質問事項の検証について

①築40年が経過した養護・特別養護老人ホームあさぎりサニールンドの移転・建替計画等の状況は。

#### ◆健康福祉部長

指定管理者である下呂福祉会内にプロジェクトチームを設置し、下呂福祉会の「将来像」を明確にする作業を令和4年3月末を期限として進めていただいている。

②漏水・老朽化している水道管について、現在の漏水および修繕状況は。下呂水道東上田取入口の改修は。

#### ◆生活部長

令和3年度における上水道および簡易水道合わせての漏水件数は、令和4年2月までで本管22件、給水管106件であり、順次修繕している。東上田の上水道取入口の改修の整備計画予定はない。

③移住・定住政策として、「ひとり親」移住の推進について提案したが、その後の検討は。

#### ◆市長公室長

単身者から大家族まで広く募集する中で取り組んでいる。

④下呂交流会館周辺における公園等の整備について、令和3年度には道筋を立てると言われたが、その状況は。

#### ◆市長公室長

来年度以降、職員によるプロジェクトが提案した公園緑地整備方針を引き継ぐと共に、広く市民の意見を伺うための検討委員会を組織し、公園整備に取り組みこととしている。

### 下呂観光交流センター「湯めぐり館」および「イベント広場」の役割について

①4月から運営が始まる観光交流センター「湯めぐり館」、来年度から整備が始まる（仮称）「イベント広場」について、今後の活用方法は。

#### ◆観光商工部長

湯めぐり館では、市内各地域の旬な情報の発信、（仮称）イベント広場では、街歩き途中の休憩スポット機能を備える予定である。

②下呂温泉ふるさと観光大使について、任命状況と活動内容は。

#### ◆観光商工部長

都市圏在住で下呂市に関係のある方80名を市が任命しており、積極的に活動いただいている。



14 番  
中島 達 也 議員

### 組織再編に伴う地域ファーストと高齢化対策について

下呂市の高齢化率は40パーセントを超え、超高齢化と共に少子化が加速している。生活に不安のない地域づくりと高齢化対策について伺う。

#### ◆健康福祉部長

高齢化に関わる課題は、下呂市の全ての分野における共通の課題として捉えることが重要であり、市職員には、今回の組織再編を“変革の機会”と捉え、高齢化への対応について全ての施策に横串を入れていただけることを期待している。具体例として、避難所における高齢化を踏まえた対応、各種申請書の文字の大きさの検討などが挙げられる。

### ふるさと納税など税外収入の取り組みについて

自主財源を確保するために、ふるさと納税の拡充は重要である。新たに設けられた専任部署の取り組みや他の税外収入の施策について伺う。

#### ◆市長公室長

令和4年度からは、ふるさと納税の業務を観光商工部商工課に移管する。これにより返礼品を提供していただいている事業者の方々や、観光協会および商工会の方々との今後の拡充等に向けた打合せや相談が、より円滑になり、数多くの魅力的な返礼品がそろうことが期待される。また、クラウドファンディングや、企業版ふるさと納税にも本格的に取り組みたい。

### 職員のネームプレートについて

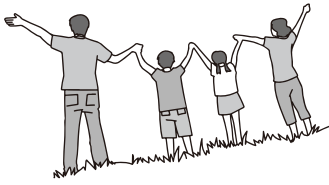
そもそも誰のためにつけているのか伺う。

#### ◆総務部長

ネームプレートの着用は、市民の皆さまに自分が市役所職員の誰であることを明らかにすると共に、名前を明らかにすることで、責任を持って仕事をするとといった意識を持たせる意味も兼ね備えているものと考えている。市では現在、名刺サイズの職員証を名札として代用しており、顔写真とフルネームを漢字とカタカナで表記したものと納まっている。文字が小さい、見にくいなどのご意見もいただいております。現在、見やすい名札に変更することを検討している。

## 「議会への意見・提案箱」

下呂市議会では、『未来の下呂市と一緒に考えましょう』をテーマとして、市民の皆さまからの幅広いご意見やご提案を募集しています。令和3年度は、これまで14件のご意見等をいただきました。寄せられたご意見等は、所管の委員会に振り分け、引き継ぎをしています。引き継いだ各委員会では、調査研究課題として位置付けたり、意見等の背景や課題を整理して市執行部に伝達したり、具体的な対応を進めています。ご意見等の中には、引き続き調査研究を必要とするものもありますが、市民の皆さまの貴重な声を市政に反映できるよう努めていきます。なお、寄せられましたご意見等を下呂市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 令和3年度「市民と議会との意見交換会」

自治会、NPO法人等の5団体から、開催申込をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3団体については、開催を延期・中止といたしました。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行った意見交換会では、下呂市だけでなく全国的に課題となっている人口減少対策、人口減少に伴い管理できず増加する空き家問題、農林業の担い手不足対策、地球環境を配慮したゴミの減量化と資源ゴミ再利用対策、新型コロナワクチン集団接種や、旧下呂温泉病院跡地の活用、通学路の安全対策などに係る数多くのご意見・ご提案をいただきました。

この多くのご意見・ご提案を早速、所管となる常任委員会や特別委員会に引き継ぎ、また市執行部に伝達しました。市民の皆さまから寄せられました貴重なご意見・ご提案を反映した政策提言となるよう、努めていきます。

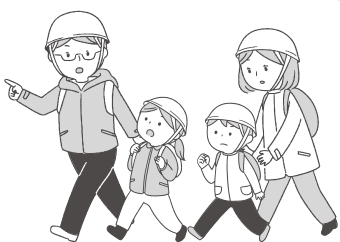
なお、「市民と議会との意見交換会」は今後も継続させていただきます。



きますので、開催を希望される場合は、是非ともご連絡ください。今後も議員がひとつになり、市民の皆さまのより良い暮らし、より暮らしやすい下呂市のために、邁進していきます。

## 議会BCP（事業継続計画）の策定

下呂市議会基本条例第24条において、「議会は、災害が発生した場合において、市民および地域の状況を把握するための体制整備に努めるものとする」、また「災害が発生した場合における議会の行動基準等に関し必要な事項は、別に定める」と規定されています。このため、大規模災害や感染症の流行が発生した場合における議会と議員のとるべき対応等を明確にすることを目的として、この度、議会BCP（業務継続計画）を策定しました。今後、このBCPを運用する中で、新たな課題に直面した場合においては、その都度検討を行い、適宜継続的に改正を行っていきます。なお、下呂市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 議会基本条例の達成状況を検証しました。

下呂市議会基本条例は、議会の果たすべき役割や責任を認識し、市民福祉の向上のため、議会一丸となって全力で取り組んでいくことを決意し、令和3年3月定例会において議員提案（議会改革特別委員会提出）により制定したものです。

本条例の第26条で、「議会は、この条例の施行の状況について議会改革特別委員会において検証し、その検証結果に基づき、必要に応じて、この条例の見直しを行うものとする」とされていることから、議会改革特別委員会を中心に検証を行ってまいりました。

委員会では、条例に規定されているすべての条文を対象として、議会におけるさまざまな取り組みが条文の目的を達成しているかどうか検討を重ね、この度、その検証の結果と評価を取りまとめましたので、お知らせします。

### 【主な検証結果・評価】

《 評価の段階： A 「達成」、 B 「一部達成」、 C 「未達成」 》

条	文	取組状況・実績等 (～令和3年度)	評価・今後の対策等	評価
第5条	市民参加及び市民との連携 市民に開かれ市民参加を促進する市民と歩む議会を実現します	○定例会本会議のケーブルテレビ放送、インターネット録画配信 ○本会議・常任委員会付託案件審査のインターネットライブ配信等の検討 ○本会議、委員会の原則公開 ○市民と議会との意見交換会の開催	市民参加を促進する議会を実現するための具体的な取り組みとして、公聴会及び参考人制度、請願陳情者の意見陳述制度の積極的運用に向けた検討が必要である。 また、市民と議会との意見交換会は、コロナ禍に対応し、小さな集会に出向く形式での開催を試みたが、開催方法等（オンライン開催含む）、今後の課題を残している。	B
第8条	市長等との関係 執行機関と政策競争をする議会を実現します	○市民と議会との意見交換会、及び議会への意見提案箱における意見等を市政に反映するため、所管委員会において調査研究を行い、必要に応じて政策提言を実施	執行機関と政策競争をするには、充実した調査研究と議員間討議が求められる。このため、さらなる議員の意識改革と資質向上、継続的な議論が可能な議会体制の構築が課題となる。	B
第21条	議員の政治倫理 議員の政治倫理の意識の向上及び確立等に努めます	○議会議員政治倫理規程の制定（令和3年4月1日施行）	市民全体の代表者として、一層高い政治倫理の確立に向けて継続的に取り組む必要がある。	B

※議会基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証して、さらにレベルアップした条例に改正していくことが、議会活動の質の向上にとってとても重要です。そのためにも、この検証の取り組みを継続していきます。

※すべての条文に係る検証結果・評価は、下呂市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

## 新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会

1月31日、委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策について、執行部から説明を受けました。主な質疑の内容は次のとおりです。

### 《ワクチン接種の状況について》

**Q** 予約のキャンセルが出た場合、スタッフだけでなく、一般の方へのキャンセル枠の案内はあるのか。

**A** 3回目の接種については、接種券が手元にある方のみ接種できるシステムとなっており、現在接種券は65歳以上の方にしか届いておらず、接種会場は十分準備してあるため、キャンセルが出ない状況となっております。今後、若い世代に接種券が届くようになりましたら、キャンセル対応の検討をしていきたいと考えています。

**Q** 若年者へのワクチン接種について、今後の方針は。

**A** 1月下旬に国で小児用ワクチンが承認されたことを受け、現在接種体制の整備を進めているところです。アンケートも実施し、医師会と協議を重ね、早期に個別接種から開始する方向で調整をしています。具体的な接種の時期は、

現時点では未定です。

### 《簡易検査センターの現状について》

**Q** 検査キットが品切れとなり、検査ができない場合もあるとのことだが。

**A** 現在、非常に品薄で購入が厳しい状況となっております。しかし、市内では唯一の会場であり、下呂市が独自で会場を提供していることから、県に強く働きかけ、検査キットの確保に努めています。

### 《第6波措置対策について》

**Q** 今回のまん延防止措置により、再度業者は厳しい状況に追い込まれることが予想される。県の上乗せ支援に対し、さらに市の上乗せもできないか。

**A** 現在、第7次の総合対策を策定中ですので、盛り込めるものは盛り込んでいきたいと考えます。

**Q** ガソリン価格の高騰も市民生活を圧迫している。市として何か対策は打てないか。

**A** 昨年お配りした商品券を灯油代に充てたという声もお聞きしていますが、この厳寒期に灯油類の値上がりは、非常に厳しいものがありますので、苦慮しているところです。しかしながら、制度設計上難しいところもありますので、さまざまな局面を判断しながら検討していきます。

## 編集後記

3月吉日、下呂市立上原小学校の卒業式に参列しました。

大きな学校に負けていない子どもたちの元気さ、明るさを感じました。

卒業生の皆さんの純粋な将来の夢についての発表を聞き、幼い頃の自分自身を思い出し、胸に「熱いモノ」が込み上げてきました。

子どもたちが、下呂市で生まれ、育った事を後々にも誇りに思える「下呂市」を創っていこうと改めて心に誓いました。

卒業生の皆さん!! おめでとうございます。皆さんは下呂市の宝です。夢を見つけ、夢を追い続け、夢を叶えてください。私たちはいつでも応援しています!!

## 6月定例会会期日程

6月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問等の内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会議内容	時 間
6月 3日	金	本会議(初日)	午前9時30分～
16日	木	本会議(一般質問)	
17日	金	本会議(一般質問)	
20日	月	常任委員会	
21日	火	常任委員会	
22日	水	予算特別委員会	
24日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合もあります。

6月定例会から本会議および常任委員会(付託案件)のインターネットライブ配信を開始します。【予定】詳しくは下呂市ホームページをご覧ください。

場所：本会議(下呂庁舎3階議場)

委員会(下呂庁舎3階第1会議室)

## 下呂市議会だよりがスマホで 読めます!!

インターネット上で  
無料閲覧できる、  
ギフイーブックスで  
配信中です。

